

京都府立医科大学
n

WLB支援センター みやこ

NEWSLETTER
2026.9
vol.23

センター創立 15 周年記念講演会

ノーベル生理学・医学賞受賞者 講演会

「ブラックバーン博士・セダット博士夫妻の研究とワークライフバランス (WLB)」

日 時：2026年3月24日（火）16:00-17:30

言 語：英語（日本語の自動翻訳あり）

会 場：図書館ホール（附属図書館 2階）

※保育ルームあり（要事前申込・無料）

主 催：京都府立医科大学 WLB支援センター みやこ

後 援：京都府立医科大学 学友会 京都府立医科大学 広小路キャンパス活性化プロジェクト
京都府立医科大学 国際学術交流センター

参加者（関係者含） 149名



プログラム

開会挨拶 夜久学長

Lecture 1: "Telomeres in Human Aging: from Cells to Stress and Social Connections"
Dr. Elizabeth H. BlackburnLecture 2: "A Chromosome Architecture that Allows a Seamless Transition Through the Cell Cycle"
Dr. John W. SedatLecture 3: "My Personal Journey Through a Career in Science"
Dr. Elizabeth H. Blackburn

講演会の詳細については、
センター Website をご覧ください。
動画視聴の申し込みも受け付けています。

また、3月28日（土）にロールモデルインタビュー
を行いました。インタビューの内容もセンター
Website に掲載しています。<https://x.gd/4X67I>



令和7年度「日本医師会医学賞」

当センター長であり、京都府立医科大学 視覚機能再生外科学 教授の外園千恵が、「角膜難病の視力予後改善に向けた実用的研究」により令和7年度「日本医師会医学賞」を受賞いたしました。

同賞は、医学上重要な業績をあげた研究者に贈られる大変名誉ある賞です。外園は、長年にわたり眼科学領域において臨床・研究・教育の発展に尽力し、特に角膜疾患の診断と治療の進歩に大きく貢献いたしました。その学術的業績と我が国の眼科医療発展への貢献が、高く評価されての受賞となります。

また、当センターの活動や子育てに尽力しながら、多忙な日々の中でも着実に成果を積み重ねてきたその姿勢は、多くの医療者・研究者にとって大きな励みとなっています。



厚生労働省 令和7年度 子育て世代の医療職支援事業

● 論文掲載料等補助

- 対 象 者： 本学に所属し、学位取得を目指していること（性別・年齢不問）
申請論文の筆頭著者または責任著者であること
- 補 助 対 象： 査読付き国際学術誌に掲載予定・掲載済の原著論文（原則として英語）
総説・症例報告等は原則対象外
- 補助対象経費： APC（論文処理費）、ページ・カラー・投稿料、文校正料など、掲載に直接要する費用
- 補 助 上 限 額： 1件につき10万円（実費精算）
- ※ 研究費との重複補助は不可（案件一体判定。教室費と個人負担は除く）
当該年度に同一教室からの申請は1論文に限ること（教室内で調整すること）



● キャリア形成やWLBに関する図書の貸出

ワークライフバランス、キャリア、ジェンダー、性教育、科研費獲得などに関する書籍の貸出をしています。

- 利用対象者： 本学・附属病院に勤務する教職員・学生等（非常勤を含む）
貸 出 冊 数： 1人5冊まで
貸 出 期 間： 4週間（延長を希望する場合、返却期限前に申請すること）

センターにある図書の一覧は「ブックログ」でご覧になれます。
<https://booklog.jp/users/miyako-book>



● 医師・研究者のキャリアとWLBを語る会



日 時：2025年10月3日（金）17：30-18：30（19：00まで交流）
場 所：京都府立医科大学 附属図書館1階
ラーニングcommons Koto Square
対 象：医学生、医師、医療従事者（京都府立医科大学・京都大学）
共 催：日本医師会、京都府医師会、
京都大学KUSNoKIプロジェクト、本センター

◆ミニレクチャー

- ① 外科系医師のワークライフバランス
- ② 子連れ留学の経験
- ③ 美容外科手術後の合併症にみる医師の手術教育

田中 佑輝子（女性生涯医科学 学内講師）
藤原 敦子（泌尿器外科学 講師）
渡辺 彰英（視覚機能再生外科学 講師）

● 乗り越えよう、小1の壁「長期休暇の学童保育」

「小1の壁」を乗り越えるための支援策の構築に着手するために、令和4年度厚生労働省 子育て世代の医療職働き方支援事業の新規事業として、事前のニーズ調査でニーズをくみ取った上で、長期休暇の学童保育の試行を行いました。令和7年度も夏季休暇・冬季休暇の学童保育を行いました。



● 申請受付中：託児等利用補助・WLBサポート利用スタート補助金・ベビーシッター利用補助事業

託児等利用補助

会議・診療時間の延長、学内での試験監督または補助や、学会・セミナー・研修会等参加のために、また、保育園や小学校の臨時の休園・休校時に、一時的な保育サービスを利用した場合の費用の一部を補助します。



※ 詳しくはHPをご覧ください。

<https://miyako.kpu-m.ac.jp/childcaresupport/babysitter/#takujihoyo>

●利用者の声

今回の学会発表は科研費とは異なるテーマの研究内容であり、託児費用の拠出に苦慮していた状況で、本制度は心強い存在であった。

WLBサポート利用スタート補助金

育児、出産、介護、通院等と両立させながら研究活動を行う医師・研究者がそれらの支援サービスを初めて利用する際の補助金を交付します。



※ 詳しくはHPをご覧ください。

https://miyako.kpu-m.ac.jp/childcaresupport/babysitter/#wlb_support

ベビーシッター利用補助事業

公益社団法人全国保育サービス協会の「ベビーシッター派遣事業」を活用し、ベビーシッター利用額の補助を行っています。ベビーシッター利用券取扱い事業者が提供するサービスを就労のために利用する場合に利用できます。



※ 詳しくはHPをご覧ください。

<https://baby-sitter.kpu-m.ac.jp/>

※ 問い合わせ・申請先：京都府立医科大学 総務課 給与厚生係 TEL: 075-251-5588

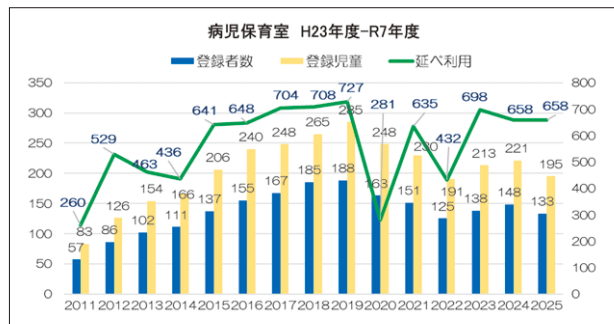


●利用者の声

普段なかなか手が回らないお風呂掃除を家事援助サービスに依頼し、時間的・精神的な負担が軽減された。今後もこのような家事援助サービスを上手に活用していきたい。



病児保育室「こがも」



受入対象者：京都府公立大学法人の教職員等の
生後6ヶ月～小学校6年生までの病気の子ども

開室日・時間：月曜日～金曜日（祝日及び年末年始除く）

午前 7:45～午後 5:30

定 員：5名（別途京都市民枠3名）

※ 問い合わせ先：病児保育室「こがも」

E-mail: kyotofuritsuika-byojikogamo@aigran.co.jp

TEL: 075-251-5272

URL <https://kogamo.kpu-m.ac.jp/>



学内保育所「くすのき」

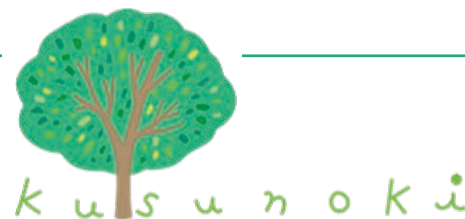
学内保育所では、年度途中の入所を随時受け付けております。

※ 問い合わせ先：京都府立医科大学 総務課 給与厚生係

TEL: 075-251-5588

E-mail: kodomo@koto.kpu-m.ac.jp

URL: <https://kusunoki.kpu-m.ac.jp/>



マタニティ白衣・スクラブ レンタル

産前・産後休暇を取得するまでの期間、快適に業務に携わることができるように、妊娠中の女性医療職にマタニティ白衣、スクラブ（上下）の貸し出しを行っています。

また、妊娠中の女性医療職が自由に利用できるように、手術室にもマタニティ用長ズボンを準備しています。

<https://miyako.kpu-m.ac.jp/childcaresupport/rental/>



「キャリア支援コンソーシアム “えん”」メンバー募集



- WLB支援センター みやこでは、平成29年4月に広報・啓発事業の企画・運営にご協力いただく「**キャリア支援コンソーシアム “えん”**」(CCえん) を立ち上げ、メンバーを学内外から広く募集しています。

メンバーになると

1. キャリア支援に関する最新の情報が得られます
2. 各種相談の窓口としてご利用いただけます
3. 講演会等への講師を紹介・派遣します

※詳細、メンバー加入申し込みについてはHPをご覧ください。
<https://miyako.kpu-m.ac.jp/ccen/>

京都府立医科大学
WLB支援センター みやこ

「CCえん」世話人 (R8.4.1現在)

<学外>

武曾恵理 (京都華頂大学現代生活学部・食物栄養学科教授), 糸井恵 (明治国際医療大学教授), 田村秀子 (田村秀子婦人科医院理事長), 大辻英吾 (京都第一赤十字病院院長), 魚嶋伸彦 (京都第二赤十字病院院長), 田邊智子 (株式会社京都メディカルクラブ代表取締役社長), 平原直樹 (御所西ひらはらクリニック院長), 牛込恵美 (京都工芸繊維大学基盤科学系教授) (卒業年次順)

<学内>

高山浩一 (呼吸器内科学教授), 加藤則人 (医療センター所長), 藤原敦子 (泌尿器外科学准教授), 光本かおり (副病院長兼看護部長) (卒業年次順)

寄附のお願い

平成26年6月に本学男女共同参画推進センター寄附金 (現 WLB支援センター みやこ寄附金) の募集を開始し、令和8年3月末現在、延べ個人277名、9医学教室、および61法人から13,900,000円ご寄附をいただきました。誠にありがとうございました。

この寄附金で、搾乳室・女子休養室・おむつ替え台等の環境整備や、講演会・ニュースレター発行の広報啓発事業を実施させていただきました。さらに若手研究者を支援する新たな支援として、WLBサポート利用スタート補助金、WLB若手研究者賞、WLBみやこ賞を創設いたしました。

WLB支援センター みやこでは、今後とも長期展望を見据えた事業計画のもと、性別にかかわらず医師および研究者を支援していきたいと考えています。引き続き、皆さまのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

寄附の詳細については、下記HPをご覧ください。寄附のお申込みがHPからできるようになりました。

<https://miyako.kpu-m.ac.jp/ccen/donation/>



センター Instagram開設しています

センターの Instagramの公式アカウントにて、最新情報を公開中です。
 皆さまのフォローお待ちしております!!



Instagram



お知らせ

- 「ワークライフバランスに係る相談窓口」を開設しています。ぜひ、ご活用ください。
- 休養・搾乳・授乳等のための女性休養室がございますので、ご利用ください。
 ▶詳しくはHPをご覧ください。
<https://miyako.kpu-m.ac.jp/>



ワークライフバランス支援センター みやこ

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町465
 電話 (FAX) : 075-251-5165
 Eメール : miyako@koto.kpu-m.ac.jp
 URL: <https://miyako.kpu-m.ac.jp/>